

蒲生干潟の地形調査②②

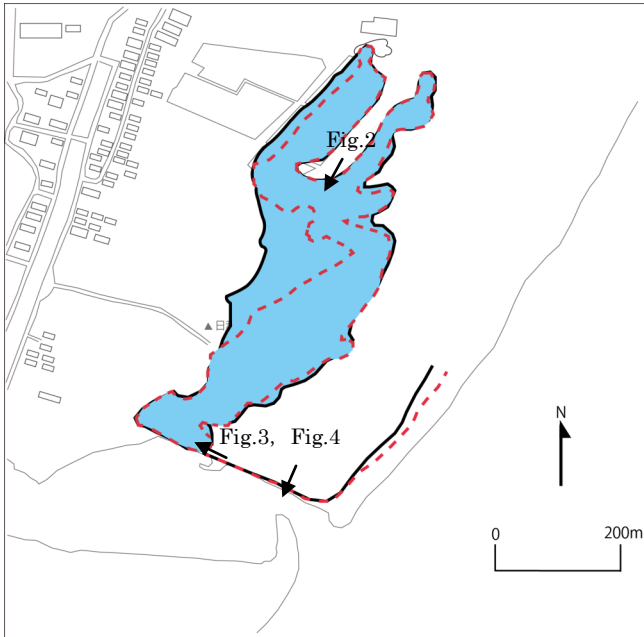


Fig.1 GPSによる簡易測量結果



Fig.2 拡大した潟湖中央部



Fig.3 潟湖から川へ勢いよく流れ出す水



Fig.4 右岸側の砂州

調査日 2017年4月12日(水) 9:30~11:00 ※干潮時刻10:23(潮位19cm)

Fig.1の赤線の破線で示されたものはGPS簡易測量による3月の汀線、黒線の実線でしめされたものは4月のそれである。また図中の矢印は写真撮影の方向を表している。3月の調査で潟湖の拡大が確認されたが、今回の調査はそれを大きく上回るほどの潟湖の拡大が確認され、特に潟湖中央部分の拡大が顕著であった。塩分濃度の結果が場所によっては0.1%であった結果を考えると調査日前日の降水が大きく影響していると考えられる。潟湖の拡大に伴い、通水部分では潟湖から川へ勢いよく水が流れ出していた(Fig.3)。また干潮時間帯にも関わらず川の水量が増加していることもFig.3で確認できる。川の水量が増していたため、3月にあった河口付近の砂州は確認できなかった。

右岸の砂州は3月の調査より更に東側が縮小していた(Fig.4)。また川側からの水量が多かったため砂州の西側が侵食されるようすがみられ、全体的に北側に細長い形となっていた。このため河口が狭くなり水の流れが急になっており、水の流れがぶつかる場所では蛇行していた。

(中田 晋)